

二〇〇七年一〇月二四日（南禅寺）

句碑訪ね由緒を巡る菊日和	宏
襖絵の虎の眼光冷まじき	虎
石橋に天蓋なせる照もみぢ	菜
秋天へ三門飛簷張りにはり	々
爽やかや楼門はるか高嶺晴	”
粧ひし山より引きし疎水かな	まさる
秋嶺を背に砦めく大伽藍	けんいち
流れ行く疎水の調べうす紅葉	わかば
つくばいに鏡映りす薄紅葉	ぼんこ
	ひかり

吟行句会みのる選

二〇〇七年一〇月二四日（南禅寺）